

とくべつじゅぎょう いみん なんみん じぶん かんが  
特別授業 移民・難民について、自分たちにできることを考える

3年 組 番 氏名

◆ 特別授業 「移民・難民」について

◆ 日時 12月14日 (水) 1・2限 (17:55~19:30)

◆ 事前学習 (下調べ)

① 難民

なんみんじょうやく では、じんしゆ しゅうきょう こくせき とくてい しゃかいしゅうだん こうせいいん  
難民条約では、人種・宗教・国籍・特定の社会集団の構成員であること、または、せいじてきいけん  
りゆう はくがい  
理由に迫害されるおそれがあり、こくせき あるくに そと  
国籍のある国の外にいて、じこく ほご  
自国の保護を受けられない、または  
うけることを望まない人々としています。また他の地域条約や国連決議により武力紛争から逃れて  
きた人々も難民として保護される。

② (国内) 難民

ないせん などせいめい きげん をさけるために、じぶん こきょう から逃げ出し、こっきょう を越えずにこくない  
内戦など生命の危険を避けるために、自分の故郷から逃げ出し、国境を越えずに国内にとどまって  
いる人々。

③ 移民

いじゅう りゆう ほうてき い かんけい なく、じぶん くに たのくに いどう ていじゅう ひとひと にほん いっぱんてき  
移住の理由や法的地位には関係なく、自分の国から他の国へ移動して定住する人々。日本では一般的  
に「ろうどう ちくてき ちょうきかん または えいきゅう がいこく うつす ひとひと」という意味で使われることが多い。

④ 移住

しごと や異なるライフスタイルを求めてあるちいき くに たのところへうつ ひとひと へたら  
仕事や異なるライフスタイルを求めてある地域や国から他のところへ移る人々の働き。

⑤ 出入国管理

こっきょう くうこう  
国境や空港、港など、人が国家間の出入りをする場合に行われる審査や手続きなど。

⑥ 自発的帰還

なんみん が自分の意志で出身国へ帰ること。

⑦ 庇護国

なんみん いちじてき ひご  
難民を一時的に庇護する (弱い立場の者をかばって守ること) 国のこと。

⑧第三国定住

難民キャンプなど一時的な庇護を受けた難民が、新たな受け入れに合意した第三国へ移動し定住すること。

⑨国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）

第二次世界大戦後の1950年に、避難を余儀なくさせられ、家を失った何百万人ものヨーロッパの人を救うために設立された国連機関。

⑩難民条約

第二次世界大戦後、国連加盟国の間で難民問題に対する意見が高まり、難民の保護を保障し問題を解決するためには、国際的な協調と団結が非常に大切であるという認識に基づいて、1951年に「難民の地位に関する条約」が採択されました。その後1967年に「難民の地位に関する議定書」が採択され、通常この2つを合わせて「難民条約」という。

⑪クルド人とは

クルド人は独自の言語と文化を持つ民族で、主にトルコ南東部、イラク北部、シリア北東部、イラン北西部にまたがる「クルディスタン」（クルドの土地・国）と呼ばれる一帯に居住している。クルド語にも方言があり、文字も共通しているわけではない。推定人口は約3千万人。ただ、各国では少数派で、差別や弾圧の対象になってきた。

⑫ロヒンギャとは

ミャンマーのイスラム系少数民族。ロヒンギャ族はインドのベンガル地方（現在のバングラデシュ）に暮らす民族で、言語はロヒンギャ語（ベンガル語のチッタゴン方言の一つ）を話すとされている。民族の人口は推定100万人とされており、イスラム教徒（ムスリム）として何世代にもわたり同国で暮らしている。

⑬アイデンティティ

自分が自分であること、さらにはそうした自分が、他者や社会から認められているという感覚のこと。日本語では「自我同一性」と言うことや、「存在証明」と訳すこともある。

⑭マイノリティ（少数派）

一般的には種族や宗教または言語を基準として一国のなかで支配的な集団となっていない集団。